

総務文教委員会

令和5年6月16日(金)

時分～時分

第1委員会室

【委員】永見委員長、三浦副委員長

肥後委員、大谷委員、芦谷委員、佐々木委員、西田委員

【執行部】

(総務部) 坂田総務部長、猪狩総務課長、勝手総務課総務管理係長

(地域政策部) 田中地域政策部長、岸本政策企画課長

(教育委員会) 草刈教育部長、藤井教育総務課長

(消防本部) 田中消防長、赤岸総務課長

【事務局】松井書記

【議題】

- 1 所管事務調査事項について
- 2 6月26日(月)の委員会審査日程等について
- 3 その他
 - (1) 議会広報広聴委員からのお知らせ
- 4 行政視察について(委員間で協議)

令和5年6月26日(月)10時開催の総務文教委員会における予定議題

- 1 請願審査
 - (1) 請願第6号 浜田市立原井幼稚園跡地払い下げに関する請願について(継続審査)
- 2 陳情審査
 - (1) 陳情第84号 職員、元職員こそ、まちづくりに積極参加をという陳情について
 - (2) 陳情第86号 救急車の停車位置は無頓着でいいのかという陳情について
 - (3) 陳情第87号 再配置計画からズレズレ、計画に忠実な執行を求める陳情について
 - (4) 陳情第88号 再配置計画、総合振興計画に「ないものはない」という考えも加えたらどうかという陳情について
 - (5) 陳情第89号 石見まちづくりセンター長沢サブセンターの中止を求める陳情について
 - (6) 陳情第90号 出張中も災害があった時所在が分からないでは困るという陳情について
 - (7) 陳情第94号 本当に「困った」との声が議会や市に届いてないのかという陳情について
 - (8) 陳情第96号 早期退職の多さが異常、原因を精査すべし、異常なものについては説明が必要という陳情について
 - (9) 陳情第97号 公的施設の賃料なら同居他者と比較して借りる必要があるのではという陳情について
 - (10) 陳情第98号 浜田市の公共施設等総合管理計画について現状と今後の考え方の説明を求める陳情について
 - (11) 陳情第99号 公共施設状況調査(総務省)の経年比較表の数値と浜田市のホームページの数値の違いについて、分かりやすい説明を求める陳情について
 - (12) 陳情第100号 中期財政計画の投資的経費や普通建設事業費が、毎年度予定していた額を大幅に上回り続けている理由と今後の対策について、分かりやすい説明を求める陳情について

(裏面あり)

- 3 議案第 33 号 浜田市人権を尊重するまちづくり条例の制定について
- 4 議案第 38 号 浜田市火災予防条例の一部を改正する条例について
- 5 議案第 39 号 財産の取得について（生活路線バス）
- 6 議案第 40 号 財産の取得について（高規格救急自動車）
- 7 議案第 41 号 財産の取得について（高機能消防指令センターシステム）
- 8 執行部報告事項
- 9 所管事務調査
- 10 その他

令和4年12月15日

浜田市市議会議長
笹田 卓 様

浜田市原町

請願者 社会福祉法人 浜田ひかり保育所

理事長

竹山 勝彦

浜田ひかり保育所新園舎建設準備委員会

委員長

野藤 薫

紹介議員

岡本 正友

浜田市立原井幼稚園跡地払い下げに関する請願書

【請願の要旨】

浜田市立原井幼稚園跡地の払い下げについて（お願い）

【理由】

浜田ひかり保育所は、「一人ひとりの子どもの幸福と利益を考慮し、家庭や地域との連携を図り、共に育ちあうためのふさわしい保育の場を目指す」。を保育理念に掲げ、昭和25年4月1日開設し、昭和40年1月19日法人認可を得て現在まで数多くの子どもたちを小学校へと送り出しております。

以前より、園庭の狭さや幹線道路9号線に隣接している関係上、保護者による送迎時の接触事故が懸念される問題を抱えながらの経営をしてまいりました。

加えて、近年園舎の老朽化に伴う耐震問題や給食室の狭さによる職員の負担増が発生しており、その改善が喫緊の課題となっている状況です。

この老朽化耐震化と保育環境問題を解決すべく、平成31年4月新園舎新築検討委員会を立ち上げ、会計事務所と設計事務所を交えて6回の会合を重ねました。

その結果、現所在地での建て替えは、保育士と園児が同一目線の理想的平屋構造（延べ床875㎡）は敷地面積不足があり、実現不能です。併せて、保育士たちが望む自園の園庭での運動会などは望むことはできません。更に前述の保護者による送迎時発生が懸念される車の接触事故を回避する方法の難しさを勘案すれば、新園舎新築検討委員会は現在地での建て替えを諦め、新たに広い用地を取得して、進入路の安全確保とのびのびとした園庭と広い遊戯室やランチルームを持ちオープンキッチン給食室を備えることにより、今以



上に充実した食育教育が可能になると考えています。

そして、普段は保育の場や地域の方々との交流の場として、災害時には食育機能を活かした一時避難所としての提供を考えております。

特に、浜田市立原井幼稚園跡地周辺は旧市内であり、近隣に公民館等の施設が無い状況の中で、炊き出しもできる浜田ひかり保育所進出は又とない好機と捉えて頂きたいと存じます。

過日、同種の請願書を提出した折の回答（令和2年11月時点）は、現時点での跡地については白紙の状態であり、令和5年度には跡地についての方向性を示すことができる旨の回答をいただいております。

もしも、原井幼稚園跡地の払い下げを検討されておられれば、原井幼稚園は幼児教育の場であった所です。営利目的の不動産業者や宅地開発業者等への払い下げよりは保育園や老人保健施設など公共性の高い団体や社会福祉法人への払い下げを切に希望いたします。

浜田市市議会におかれましては、上記趣旨にご理解いただき、特段のご配慮をお願い申し上げます。

付帯書類 新園舎計画平面図

陳情番号	84
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長笹田卓様

2023年6月1日

浜田市日脚町

森谷公昭

職員、元職員こそ、まちづくりに積極参加をという陳情

職員教育のボタンの掛け違いはないか？

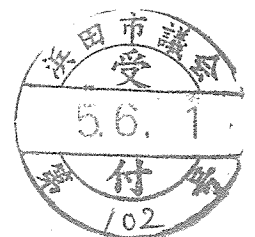
市役所退職者は、かなり頼りになるはず。

その人が、井戸端会議や町内会に参加しないということは職員教育にも問題があるのではないか？

支所長経験者も井戸端会議にほとんどが不参加

人的資源としてももったいないと思う。

検討したうえで、できれば前向きに動いていただきたい。



陳情番号	86
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長笹田卓様

2023年6月1日

浜田市日脚町

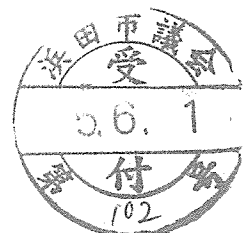
森谷公昭

救急車の停車位置は無頓着でいいのかという陳情

救急車 (ambulance) の停車位置の考えはどうなっているのか？

あまりにも無頓着な止め方を目撃する

節度を持った止め方をすべきだと思うが、検討していただきたい。



陳情番号	87
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長笹田卓様

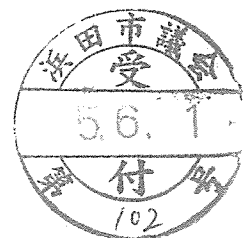
2023年6月1日

浜田市日脚町

森谷公昭

再配置計画からズレズレ、計画に忠実な執行を求める陳情

スクラップアンドビルドというのに
いまだに、まちづくりセンターを5億円で
三桜後2億円で買い、何億円かで作ろうとしている
SDG'Sの観点から直して使うという方針も示したらどうか？



陳情番号	88
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長笹田卓様

2023年6月1日

浜田市日脚町

森谷公昭

再配置計画、総合振興計画に「ないものはない」という 考えも加えたらどうかという陳情

あれがないから これが無いから 作ろうでは
小さな町にすべて用意することにもなりかねない
人口減少中で、大変なことになる
ないものはないという前提で魅力を考える
SDG'S
金がいくらあっても足りない



陳情番号	89
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長笹田卓様

2023年6月1日

浜田市日脚町

森谷公昭

石見まちづくりセンター長沢サブセンターの中止を 求める陳情

石見まちづくりセンターは地元の要求でできたのではない
地元の要求は、自治公民館の要求だった
サブセンターの話が出たときも
住民の話では、「これは話が違う」という意見もあった
人口減少のなかで5億円もかけて
ハコモノが抑制されている中で
建設してはならない



陳 情 番 号	90
付 託 先 委 員 会	総務文教委員会
審 査 結 果	

浜田市議会議長笹田卓様

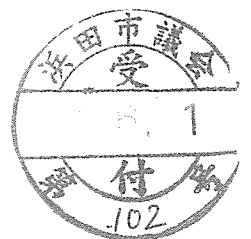
2023年6月1日

浜田市日脚町

森谷公昭

出張中も災害があった時所在が分からないでは困るとい
う陳情

出張の際の万一の時のために宿泊場所がわかるようにすべきだと思うが
なされていない
宿泊情報の共有を検討してください



陳情番号	94
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長笹田卓様

2023年6月1日

浜田市日脚町

森谷公昭

本当に「困った」との声が議会や市に届いてないのかという陳情

録画録音禁止の理由が「切り取りアップで市民が混乱することを防ぐため」という理由だそうです。

市民は自分のために録画録音をするのであり、切り取りアップするために録画録音するのではない。

自動車事故は起きますし、死亡事故もありますが車は販売されています。

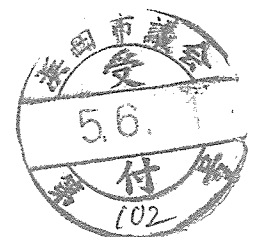
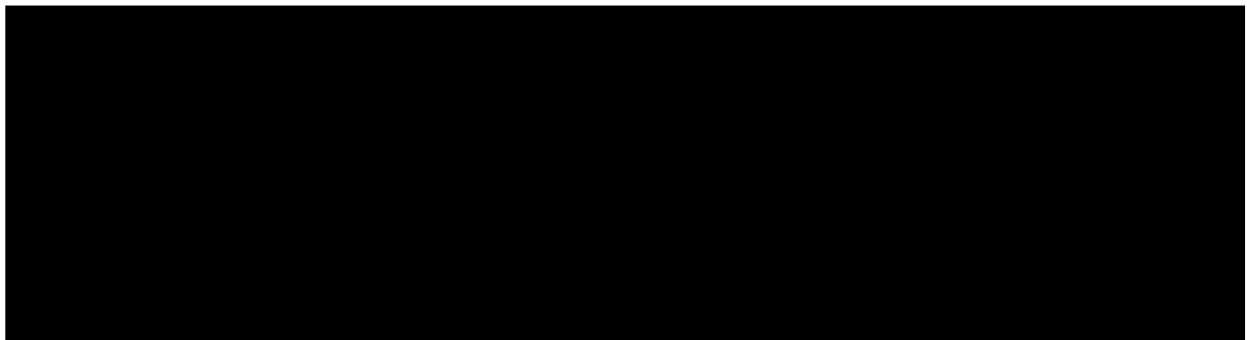
包丁で切られた人がいる、殺された人もいますが、包丁は売られています。

実際に今までなかった「切り取りによる混乱」を想像推測して、多くの市民の利便性を犠牲にして良いものかどうか検討してほしい。

私には、多くの方から「困る」という声があります。

せめて職員の判断に任せるとするのが落としどころではないかと思います。

参考です



陳情番号	96
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長笹田卓様

2023年6月1日

浜田市日脚町

森谷公昭

早期退職の多さが異常、原因を精査すべし 異常なものについては説明が必要という陳情

早期退職に際して、過去10年間（約100人）で課長起案は2人。

他は、係長起案又は合議である。

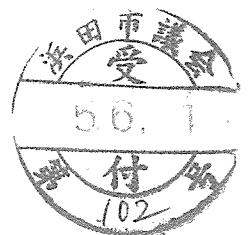
平成30年12月と平成31年2月の2人について当時の西川人事課長の起案であるが、12月はほとんどが黒塗りで4ページも黒塗りである。

通常は黒塗り部分は2行から3行である。

特殊事情があったと思われるが、どのような場合に枚数が増え、黒塗りになるのか？
教えていただきたい。

また執行部に概要を説明するよう働きかけていただきたい。

なお、この退職者は、12月17日に退職届を提出し12月31日に退職している。



陳情番号	97
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長笹田卓様

2023年6月1日

浜田市日脚町

森谷公昭

公的施設の賃料なら同居他者と比較して借りる必要があるのではという陳情

商工会議所1階を坪単価7000円で浜田市が借りようとしている。

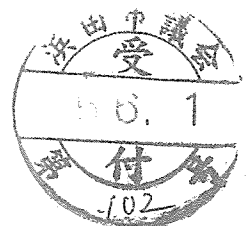
公益性のある方向会議所の公共スペースであるので

賃料については、かなり慎重に決めるべきではないかと思う。

同居する、保険会社やテイクアウト業者の賃料も明らかにし、そんな色のない単価で借りるべきではないか？

高すぎても安すぎてもいけないと思います。

検討してください。



陳 情 番 号	98
付託先委員会	総務文教委員会
審 査 結 果	

浜田市議会議長様

浜田市の公共施設等総合管理計画について現状と今後の考え方の説明を求める陳情

浜田市では公共施設等総合管理計画や公共施設再配置実施計画を策定し、公共施設の統廃合や再配置に取り組んでいます。計画策定時に比べ、浜田市の公共施設の数には減っていますが、新規整備や取得によって、ハコモノの延床面積は増えています。浜田市の公共施設等総合管理計画では、行政財産の施設数と面積、普通財産の施設数と面積を合わせてハコモノとして管理しており、行政財産だけがハコモノという訳ではありません。平成25年に6.86㎡と計算した住民1人あたりの公共施設保有量は、人口が減少して面積が増えているため、令和5年5月現在は、約9㎡に増え、類似団体平均と比べ2.5倍、全国でもトップクラスになっているのではないかと考えられます。

また、浜田市の公共施設等総合管理計画では、構造別に更新単価を想定していますが、直近の市の公共施設の建設工事の実勢価格は、計画に示された単価の2倍を超えてきています。具体的には、鉄骨造の更新単価は㎡あたり16万7千円、木造は19万5千円と計画されていますが、直近の工事単価は約2倍～2.5倍になっています。

公共施設に関する計画策定時、40年後には面積で7割しか維持更新できないという試算でしたが、仮に公共施設の更新等に使える予算が想定どおりで、公共施設の多くを占める鉄骨造と木造の更新単価が2倍になった場合は、維持更新できるのは7割ではなく3割5分ということになり、非常に深刻な状態だと思います。

既に実行した統合や計画上の新規整備についても計画している更新費用の約1.5倍～4倍の費用がかかっている現状があります。

実際には、有利な起債ができる期間が計画策定時の想定より延長されているというプラス材料はあるとしても、今後も続く保証はありません。工事単価の上昇というマイナス材料の影響が計画の信頼性、実効性を損ねるレベルに達しているならば、実勢価格以上の更新単価で計算し、計画を修正する必要があると考えます。

公共施設再配置実施計画は令和3年度に第2期計画（計画期間は令和4年度～令和7年度）を策定していますが、この際にもすでに実勢価格と大きく乖離した第1期計画の更新単価（昭和59年度～平成19年度の分析値）をそのまま引き継いでいます。

市長は4月27日付の新聞記事の中で、石見神楽伝承館の設置や美又温泉に日帰り入浴施設整備の検討に触れ、記者からの「新たなハコモノ整備は、市民の理解が得られるか」との問いに「市では公共施設再配置実施計画を策定し、施設の更新や統廃合を計画的に行っている。」と答えていらっしゃいますが、工事の実勢価格が計画で想定している工事単価の2倍を超えてきている例も多いことや、浜田市のハコモノの総量が増え、計画通り進んでおらず深刻な状態である、といった報告を受けていらっしゃらなかったに違いないと思います。

公共施設等総合管理計画や公共施設再配置実施計画を策定し、「喫緊の課題」として削減や統廃合に取り組んできて、両計画に共通の更新単価と実勢価格との差により、市の計画上充てられる予算では計画通りの量を削減できていないために、ペースが鈍い面もあると考えます。工事の実勢価格が高騰していること自体は浜田市に責めがある訳ではありませんし、行財政改革推進課は市長や議会、市民に正しく情報共有し、財政課や建築住宅課とも協力して、急いで必要な修正を行う必要があると考えます。これにより、市長も議会も市民も、みんなが市の公共施設について「市のハコモノの量やそれにかかっている費用はどのくらいなのか」、「本当に必要不可欠なものなのか」、「その施設を作ること、残すことで市民が得られる効果はどうか」、「自分たちの世代の一時の利便性や満足度のために、縮小していく子や孫の世代の市の予算の自由度を奪う（将来出ていく費用を増やしていく）ことになっても良いか」を、危機感を持って考え易くなると思います。

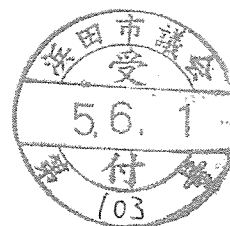
有利な起債を使える期間が伸びて、それらを利用し計画を前倒して統廃合を進めているならば、市のハコモノの総量は減るはずですが、逆に増えているということは、有利な起債も使いながら新たにハコモノを作ったり取得している方が多いということになります。毎年示される中期財政計画では、普通建設事業費は2年後、3年後には階段状に10億円単位で減ると示されていますが、実際には2年後、3年後には、減らないどころか増えていたりします。「作ることや取得することは決めるが、増やすことでその後何十年もかかる維持費、人件費や、大規模修繕、更新、廃止の費用の増加は将来世代でなんとかすればよい。」と考えるならば、これは、子や孫の世代にツケを回している状態でしかなく、このままでは「住みたい、住んでよかった浜田市」にはならないと思います。

誰もが市のハコモノの新設や更新の可否について、正確な情報を基に考えたり判断できるように、「浜田市の公共施設の総量や住民一人当たりの保有量の推移」、「公共施設関係の計画で、現実と乖離している更新単価についてどうする必要があると考えるか」「公共施設再配置実施計画は大幅に遅れているが、計画期間内に削減するペースを加速するのか」、「ハコモノの総量が増えていることをどう考えるか」について、執行部から分かりやすい説明を行っていただけるように働きかけて下さいます様、お願い申し上げます。

2023年6月1日

浜田市国分町

三島淳寛



陳情番号	99
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長様

公共施設状況調査（総務省）の経年比較表の数値と浜田市のホームページの数値の違いについて、分かりやすい説明を求める陳情

総務省では、全国の自治体の様々な数値についての報告をもとに、それらをまとめたものを公表しています。この中に、公共施設状況調査というものがあり、各自治体のハコモノの総量を毎年載せています。

浜田市でも毎年度、公共施設のうち、一般会計における行政財産について推移を公表しています。

浜田市の公表している数値は一般会計における行政財産だけなので、総務省への報告とぴったり一致しないことに不思議はありませんが、総務省への報告のうちの行政財産の増減高とは高い相関関係にあるはずではないかと思えます。

しかし例えば令和2年度、総務省への報告は行政財産の建物が18,034㎡減ったと報告していますが、市の公共施設等総合管理計画での公表内容から計算すると、1,334㎡の減少です。調査の時期が10月1日か3月末かの違いがあっても、次の期には反映しなければならないため、不自然です。また、令和2年度には高度衛生管理型7号荷捌所が完成しており、これだけでも約8,100㎡の増加があったはずですが、一般会計における行政財産（指定管理で運用）なのに面積計算に入っているように見えません。

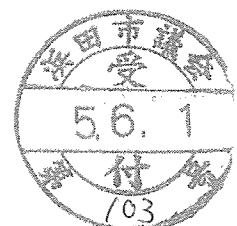
令和4年度以降、4号荷捌所、ゆうひパーク浜田も取得しており、浜田市のハコモノ総量は、さらに10,000㎡以上増えていると考えられます。前年度末の数値を総務省が秋には公表するため、年度が変われば市として取りまとめた数値を報告なさっているはずで、遅くとも6月か7月には前年度に何がどれだけ増えたり減ったりしたのかを把握し、市の計画とも照らしてチェックなさっていると思えます。

毎年度、行政財産の推移について総務省への報告内容と市の公表している内容の差がかなりありますが、この理由について、わかりやすい説明を行っていただけるよう働きかけてくださるようお願い申し上げます。

2023年6月1日

浜田市国分町

三島淳寛



陳情番号	100
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果	

浜田市議会議長様

中期財政計画の投資的経費や普通建設事業費が、毎年度予定していた額を大幅に上回り続けている理由と今後の対策について、分かりやすい説明を求める陳情

浜田市では毎年度中期財政計画を策定し、向う10年の歳入と歳出について計画値を示しています。この中で、投資的経費や普通建設事業費について、毎年度、2年後3年後には数十億円減らしますという計画を立てています。しかし、実際に翌年度の計画、翌々年度の計画を見ると、その通り減らずに激増していたりします。

災害復旧等、予期しない部分が増えるのは仕方ない面があると思いますが、普通建設事業費はサマーレビュー等を積み上げて、計画的に予算化されていると説明を受けました。これが例えば令和元年の計画では令和2年には35億、令和3年には23億に減らすとしていたものが、翌年の計画では令和2年56億、令和3年34億に増えています。また、同様に令和2年度の計画では令和3年度は34億に、令和4年度は36億に減らすとしていますが、実際には令和3年度になれば56億、令和4年度には66億を計上しており、2年後3年後に30億や40億増えたりしています。中期財政計画なので5年程度先まではある程度高い確度で見通すという目的があるはずですが、少なくとも投資的経費や普通建設事業費については2年後についてすら見通せていない状態です。正確に先を見通すことはとても難しいため、計画どおりにいかないことも多いのは理解できますが、ハコモノやインフラの計画的な整備についての計画もあるため、それが当年度や前年度に何十億円も激増するというのは、どういう理由なのかがわかりませんし、信頼度、実効性が低いとも言えます。去年言っていたのと全然違う場合、理由の説明や検証も必要なのではないかと思えます。

毎年度かなりの増額になっている理由と、この計画の信頼度、実効性向上のために行うべきことについて、市の考え方をわかりやすく説明していただけるよう、執行部に働きかけて下さいます様、お願い申し上げます。

2023年6月1日

浜田市国分町

三島淳寛

